

1 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

教育目標

「一人一人が明るく生きる学校」 ～出会い 学び合い 石田愛～
 あい教育（㊟と㊿で高め合う教育）
 会い・・・友・教職員との出会い 様々な人やモノとの出会い 関係づくり
 合い・・・認め合い 学び合い 支え合い 高め合う仲間づくり
 愛・・・自己有用感（役に立ちたい） 石田校でよかった 居場所づくり

目指す子ども像

㊟ 相手の気持ちを想像し、学校外でもかわいがられる子
 ㊿ いつもめあてをもち、めあてに向かって努力する子
 石田グー（団結力・よさの認め合い・ガッツポーズ）

目指す教職員像

- ・丁寧なこだわりをもって、やることはやる。
- ・人権感覚，バランス感覚，授業力，生徒指導力，保護者対応力，段取り力を身に付ける。
- ・子どもから信頼され，模範となる行動ができる。
- ・危機管理意識をもち，健康管理ができる。
- ・地域の実態を知り，課題を共有する。

目指す学校像

- ・子ども，保護者，地域，教職員が互いに高め合い伸びる学校
- ・健康，安全を意識し，命を守りきる学校
- ・規範意識が根底にあり，いじめを許さない学校
- ・人やモノとの出会いを大切にし，何事にも意欲的に活動し，自己有用感がもてる学校
- ・学校運営協議会を立ち上げ，地域ぐるみで家庭の教育力向上を図る学校

2 学校経営方針

- ・子どもも教職員も規範意識が根底にある学校
- ・危機管理体制を確認する。
- ・「本校の子どもをよくする」という意識の教職員の育成
- ・分かりやすい言葉で分かりやすいめあての提示をし，子どもの力を伸ばす。
- ・「攻めの生徒指導」の徹底を図る。
- ・個々の意識改革を図り，組織としての体制づくりを推進する。
- ・施設面での点検，修繕，改善を速やかに行う。
- ・小小連携，小中連携のこれまでの取組をさらに発展させる。
- ・家庭や地域に学校の取組を発信して理解を得るとともに，子どもの教育についての関心を高める。

3 今年度、徹底する取組

- ・学習に向かう姿勢を高める取組を意識しながら、言語活動の充実を年間重点取組とする。
- ・小規模校の利点を生かし、縦割り活動（異学年集団）の運用を図る。
- ・家庭学習の定着を図る取組を継続する。
- ・様々な行事を通して小小連携・小中連携を推進する。
- ・地域ぐるみの教育推進のため学校運営協議会の運用を図る。

4 学校教育の計画

(1)「確かな学力」の育成に向けて

重点目標

学力向上プランの検証と学習意欲を持たせる取組の推進・家庭学習の確保

具体的な取組

- ・学習に向かう姿勢を高める取組の継続
- ・図画工作科をはじめ、各教科における「つきたい力を明確にした『言語活動』」について研究を深め、毎時間「言語活動」を意識した授業展開をする。
- ・図画工作科における思考力、判断力、表現力を育む指導方法の工夫をする。
- ・話型の提示等教室や校内の掲示物により、言語環境を整える。
- ・45分の授業時間を大切に、わかる授業を積み重ねる。
- ・わかりやすいめあてを提示し、見通しをもって学習に取り組ませる。
- ・5，6年生算数科における習熟度別授業を推進する。
- ・若手教員研修の実施により、授業力向上を目指す。
- ・小中連携として中学校ブロックで高まる取組を模索する。
- ・総合育成支援員との連携により、支援の必要な子どもの学力向上を図る。
- ・家庭学習についての共通理解を図り、家庭への協力要請や「やりきらせる」取組を継続する。

(2)「豊かな心」の育成に向けて

重点目標

人権教育の推進とコミュニケーション能力の育成

具体的な取組

- ・ いじめ防止基本方針に基づき、いじめを許さない学校づくりに努める。
- ・ 月毎に設定している人権学習の充実を図り、人権尊重の精神を育てる。
- ・ 図画工作科、音楽科、書写等あらゆる関連教科の中で豊かな情操を培う。
- ・ 道徳教育や掃除の活動を通してお互いのよさ（違い）を認める。
- ・ 文化部活動（音楽、茶道）の活性化
- ・ あいさつを通して望ましい人間関係を築くとともに、互いに気持ちよく学校生活が送れるようにする。
- ・ 縦割り活動を進め、異学年との交流を深めることにより、自律心と責任感の育成を目指す。
- ・ 「トイコンテスト」や「お話コンクール」等校外での取組に向けてチャレンジする意欲を高める。
- ・ 農育の推進により、栽培活動を充実させ、自然に感動、感謝する心を育てる。
- ・ 学年の実態に即した「社会のルール教室」を実施する。

(3)「健やかな体」の育成に向けて

重点目標

心身の健康が学校生活の根幹と認識

規律ある生活習慣の定着

具体的な取組

- ・ 朝のランニング等運動面の取組を年間継続する。
- ・ 運動部活動の充実の継続
- ・ 養護教諭や担任による保健指導の充実を図り、健康教育を推進する。
- ・ 栄養教諭による食育の推進
- ・ 全教職員で研修を通して食物アレルギーについての理解を深め、児童の命を守る。
- ・ 家庭への地道な働きかけを継続し、基本的な生活習慣の定着を促す。
- ・ 全教職員が危機管理意識をもって校内安全点検をし、改善につなげる。
- ・ 安全教育の推進により、防災意識の高揚を図る。

5 「小中一貫教育」における9年間の教育目標と目指す子ども像

<p>9年間の教育目標</p> <p>将来の夢や展望をもって、チャレンジする確かな個の育成</p>
<p>目指す子ども像</p> <ul style="list-style-type: none">・自ら学ぼうとする意欲、態度を身に付けた児童、生徒・望ましい生活習慣を身に付け、健康な心身と体力の向上を目指す児童、生徒・法やきまりの意義を理解し、集団や社会の一員としての自覚をもつ児童、生徒・互いに認め合い、支え合う態度を身に付け、集団の中で高まり合う児童、生徒・小、中学校が連携して外国語活動、外国語科の学習を通し、諸外国との文化交流を積極的に行おうとする児童、生徒
<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの教育活動の連続性を高める取組<ul style="list-style-type: none">中学生のチャレンジ体験発表会に3校の6年生が参加オープンスクールで6年生が中学校の授業や部活動を体験言語活動充実のために6年生と中学生が百人一首大会開催・小中学校の教職員間の「連携」と「協力」を深める取組<ul style="list-style-type: none">授業や講演を通した小中合同研修会実施各校の研究発表会等に参加・家庭や地域との「連携」「協力」をより一層推進する取組<ul style="list-style-type: none">小中合同地域清掃活動休日参観地域生徒指導連絡協議会の行事（パトロール・川の清掃・スポーツ大会）での交流や啓発活動